

(仮)ヒトとオトの通り道 プレミアムコンサート



事業概要

通勤路や通学路となる駅前や都市公園等を活用し、週末や給料日等の人が多く集まるタイミングで、文化ホールの指定管理者によって選ばれたアーティスト、市民の活力を活用したコンサートを開催する。他のイベントとの相乗効果を図れるよう、集客が見込めるまちバルやニワタスガーデンバーナイト等のイベントとの連携を行う。

対象

高校生、大学生、社会人等
※普段文化施設を訪れる機会が少ないと思われる方

目的、狙い

- ①仕事や家事、勉強等に忙しく、文化ホールを訪れる機会が少ない人でも、気軽にコンサートを鑑賞することができる機会を提供することで、誰もが文化に触れる機会の充実を図り、心の豊かさ及びふるさと意識の醸成をはかる。
- ②人が多く集まる公共空間で開催し、日常の空間を非日常に演出することで、都市イメージの向上、まちなかの賑わい創出に寄与する。
- ③文化ホールでしか鑑賞する機会がないプログラム(クラシック、パフォーマンス、ジャズ等)を提供し、市民の文化活動の充実や、文化ホールの周知、利用者拡大につなげる。
- ④中心市街地活性化に取り組む草津まちづくり株式会社、草津川跡地公園指定管理者等と情報共有、連携体制の構築に取り組み、オール草津で文化振興に取り組む。

課題、検討する事項(例示)

- 人が多く集まる曜日、時間帯はいつだろう？
- 通勤・通学中の方に興味を持ってもらえる音楽のジャンルは？
- 一回当たりの演奏時間、演奏回数ほどの程度がいいだろう？
- 年間を通してどの程度の頻度で実施できればいいだろう？
- 通勤・通学中に気軽に立ち寄れる工夫はあるだろうか？
- 相乗効果を図るため、連携できるイベント等はあるだろうか？
- プロ以外の音楽活動を行っている市民に出演してもらうには、どのような方法があるだろう？また、注意する点は？
- 会場での鑑賞環境にはどのような準備が必要だろう？
- コンサート以外に関心を持ってもらえるパフォーマンスは？
- 忙しい人への広報はどうすればいいだろう？

など

ワークショップのまとめ



開催時期、場所等

開催頻度

- ・毎月
- ・年間2回
- ・春・秋
- ・春と秋の2回？暑くもなく、寒くもなく
- ・定期的に開催する。週一、月一とか
- ・週一or月一で定期的に
- ・四半期に一度
- ・毎月、曜日を決める

曜日・時間

- ・金曜夕方～夜
- ・朝は困難
- ・平日の曜日にする
- ・18時駅前
- ・平日、朝夕の通勤時間帯
- ・たそがれ時のコンサート
- ・週末ステージ
- ・トワイライトコンサート
- ・金曜日夕方
- ・週末の夜
- ・通勤時間帯にする
- ・18時前後

演奏時間

- ・15分
- ・5分×3回
- ・10分～20分
- ・1回あたり5～7分の演奏

開催場所

- ・公園 駅前広場
- ・適度な空間
- ・気軽に集まれる場所

集客方法

音楽のジャンル

- ・通勤者⇒80,90年代の流行歌・新しい音楽
- ・世代によるジャンルの選択
- ・ジャズとか
- ・出演する側の「お客様目線」
- ・駅前でジャズ、ロック
- ・みんなが知っている曲

音楽以外のジャンル

- ・ダンス、大道芸
- ・大道芸人
- ・大道芸
- ・プロジェクションマッピング

PR方法

- ・電車のつり広告
- ・SNS,twitter,facebook
- ・各種団体、学校に声かけ
- ・フェイスブック ツイッター、ロコミ
- ・PRの方法⇒ネットワークが作れるといいかも
- ・インスタ映え
- ・SNSで発信！

効果を高める方法

連携できるイベント

- ・企業のお祭り
- ・コスプレ
- ・小学生とコラボ
- ・〇〇高校とのステージ
- ・飲食系イベント
- ・組み合わせ 食事や喋ること ビアガーデン
- ・写真展、子どもの絵画展とのコラボ
- ・未就学児ママ・パパとコラボステージ
- ・船上での催し
- ・ハロウィンのフェイスペイント
- ・大学生サークルとのコラボ
- ・展示とステージのミックス

市民参加

- ・ボランティアの確保
- ・出演したい人に準備・後片付けをしてもらう
- ・登録制 オーディション 事前のチェック
- ・市民だからといってボランティア性を求めすぎない
- ・アーティスト登録

その他

注意点・必要な配慮

- ・基本のルール作り
- ・音が聞こえるだけでも嬉しい
- ・忙しいときは耳もお休みしたい
- ・機材のセットが大事
- ・立って見られる
- ・雨降ったらどうする

その他

- ・テーマステージ
- ・チャレンジドデーのステージ
- ・アウトリーチセット